

平成 31 年 2 月 4 日
公益財団法人 東京観光財団

電子メールの誤送信について（お詫び）

このたび、当財団事業の委託先である事業者が、都内観光協会や観光連盟の関係する方々に研修会のご案内メールを送信した際、本来であればメールの宛先を BCC で入力して送信すべきところを、誤って CC に入力して送信してしまいました。

関係者の皆様には多大なご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。また、当財団では、職員及び委託先事業者に対し、個人情報の取扱いについて周知・徹底を図り、再発防止に努めてまいります。

1 事故概要

平成 31 年 2 月 1 日（金）16:08 に「観光人材育成支援事業」の受託事業者が、観光協会や観光連盟の関係する方々に研修会のご案内メール 75 件を送信した際、本来メールアドレスを「BCC」で送信すべきところを、誤って「CC」で入力して送信したため、45 件の個人メールアドレスが、他の受信者に見える形となってしまいました。受託事業者が 17:54 に全送信先に対し、メールにてお詫びとメール削除依頼を行うとともに、電話でもお詫びとメール削除依頼を致しました。

2 今後の対応

職員及び受託事業者等に対し、電子メール送信時における注意喚起を改めて周知し、再発防止に努め、情報管理体制の強化に取り組んでまいります。